



ORGANIC
COTTON

2026.03.03

— エコテックス®(OEKO-TEX®)国際共同体発表 2026.3.3 News Release No.3-3 — 2026年6月発効 **オーガニックコットン**認証の新規制について

エコテックス®国際共同体は例年同様、2026年より各認証及びラベルに適用する試験基準、規制値、要求事項を更新しました。規制値の変更点につきましては、各認証に対応した規制値表にてご確認ください。エコテックス®オーガニックコットンに関する以下の新規制は、3か月の移行期間を経て、2026年6月1日から適用されます。

「GMO 不検出」の表記について

慎重な検討の結果ならびに透明性および品質への取り組み方針に基づき、オーガニックコットン認証における綿製品については、今後「GMO 不検出 (GMO not detectable)」という表記を使用しないこととします。これは、GMOの混入が最大4.9%まで許容されており、「不検出」という表現が厳密には正確ではないためです。

湿式工程に関する認証要件について

オーガニックコットン認証における品質保証をさらに強化するため、未認証の湿式工程（例：染色、洗浄、プリント、仕上げ加工）は、初回認証の場合に限り認められます。一方、認証更新においては、サプライチェーン内のすべての湿式工程が認証を取得していることが必須となります。すべての証明書には移行期間が設けられており、2027年6月までは未認証の湿式工程も引き続き認められます。この移行期間により、企業が工程および認証状況を整備するための十分な時間が確保されます。

この変更により：

初回認証の場合

未認証の湿式工程は認められます。

企業が初めて認証を申請する場合、未認証の湿式工程（例：染色、洗浄、プリント、仕上げ加工）を行っているサプライヤーや外注先を使用することが可能であり、初回認証の段階ではこれらの工程も受け入れられます。

認証更新の場合

すべての湿式工程が認証取得する必要があります。

認証更新時には要件がより厳格となり、サプライチェーン全体におけるすべての湿式工程が認証を取得していなければなりません。未認証の湿式工程は、認証更新においては一切認められません。

オーガニックコットン認証における高度なデジタルトレーサビリティ

エコテックス®は、TextileGenesisと協力し、エコテックス®オーガニックコットンにおけるデジタルトレーサビリティを強化しています。新しいシステムでは、紙ベースの取引証明書に代わり、安全なデジタル・チェーン・オブ・カストディ（管理・追跡の仕組み）を導入し、透明性を高めるとともに、不正のリスクを低



ORGANIC
COTTON

2026.03.03

減します。これにより、エコテックス®認証はサプライチェーン全体においてより信頼性が高く、管理しやすいものとなります。

規格書とは別提供となる規制物質リスト（RSL）

2026年より、規制物質リスト（RSL）は規格書本体には含まれなくなります。

今後は、視認性の向上、比較のしやすさ、ならびに要件のより明確な理解を目的として、別途 Excel ファイルとして提供されます。

エコテックス®新規の詳細については、OEKO-TEX®(info@oekotex.com) または最寄りのエコテックス®認証機関(<https://www.oeko-tex.com/offices>)にお問い合わせください。

3か月の移行期間を経て、2026年6月1日から、エコテックス®オーガニックコットンの新試験基準と規制値がすべての認証に対して拘束力を持ちます。

◆ 本リリースに関するお問い合わせ先 ◆

エコテックス®認証について

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
ライフ アンド ヘルス事業本部 エコテックス®事業部
E-mail:oeko-tex@nissenken.or.jp

エコテックス®PRについて

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター
事業推進室 マーケティンググループ
E-mail:pr-contact@nissenken.or.jp